

サインボードを設置し「中海アダプトプログラム」を支援します！

記者発表資料

中海がラムサール条約に登録され保全と賢明な利用が求められる中、「これ以上中海を汚してはいけない」「きれいな中海を取り戻そう」と市民団体などによって「中海アダプトプログラム実行委員会」が組織され、いよいよ活動が開始されました。

このプログラムは、中海湖岸の清掃を年3回以上実施するもので、3年計画で中海全域に清掃活動の輪を広げる目標を掲げています。第1期の今年度は、4月16日に米子市・境港市・安来市などから市民団体など55団体、約450名が米子市湊山公園に集い、開会式を行ったのち湖岸の清掃活動を実施しました。当日には国土交通省も清掃船を出航させ、市民の皆さんとともにゴミの収集活動を実施しました。

国土交通省出雲河川事務所は、中海アダプトプログラムを引き続き支援するため、このたび、参加される各団体の活動範囲を示すサインボード（活動団体名などを明記した看板）を設置しました。

中海の水環境を取り巻く状況は厳しいものがありますが、きれいな中海を取り戻すため、身近なところから行動を起こす同プログラムにできるだけ多くの方々の参加を願っています。

同時発表記者クラブ名

島根県政記者クラブ・米子市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所 副所長（技） 土江 清司
河川管理課長 中井 喜美男
TEL（0853）21-1850

【中海アダプトプログラム】

「中海及びその流域」を「子」と思い、将来に良好な河川環境を残すとともにきれいで親しみのもてる川や湖とするため、常日頃から「親」の気持ちで接し、小さな変化にも早く気づき、中海が地域に豊かな生活をもたらすような環境を存続するよう活動する制度です。

【中海アダプトプログラム実行委員会】

目 的

私たちにとってかけがえのない財産である中海の護岸清掃・美化活動を推進することにより、中海に対する住民の関心を高め、愛着を育てること及び、住民と国・県・市町が協働して、「泳げる中海」を実現することを目的とする。

参加資格

目的に賛同し実施しうる団体または個人とする。(4月19日現在の参加団体数:55団体)

実行委員長：田守 利彦

事 務 局：(株)中海テレビ放送

(参 考)

【アダプトプログラム(adopt program)とは】

原 型：アダプト・プログラムの原型は、米国の「アプト・ア・ハイウェイ・プログラム」です。

1985年頃、米国テキサス州交通局により始められたもので、当時、ハイウェイの散乱ゴミの清掃を行っていた州の交通局が、毎年15%～20%の割合で増え続ける清掃費用に困り、市民に協力を呼びかけました。

市民グループや企業の人たちは、道路を養子にするという新しい発想のプログラムに賛同し、活動が始まったものです。

アダプト：アダプト(adopt)とは、「を養子にする」という意味です。

(adopt) 住民や企業などが、河川や道路などの公共スペースの一定区間を、わが子のように愛情と責任を持って面倒を見る(清掃・美化する)ことから命名されました。

サインボード(米子市湊山公園)

